

主要地方道朝霞蕨線無電柱化事業説明会 開催結果概要

開催目的

埼玉版スーパー・シティプロジェクト「朝霞市版スーパー・シティプロジェクト～人と緑が活きるウォーカブルなまちづくり～」の取組支援として着手する主要地方道朝霞蕨線の無電柱化について、地元の御理解を得るため設計内容を説明した。

開催結果

日付	時間	会場	参加者数
令和8年1月29日（木）	15：00～16：00	朝霞市役所	32名

質疑応答

主な質疑	回答
道路下の埋設管は老朽化が進んでいることから、共同溝での整備はできないのか。	・既設の埋設物が交錯しているなどの制約があり、共同溝の整備は構造的な視点において現実的に難しい。
通行止めが発生する時期はいつか。	・掘削が必要となる工事で規制が発生する。 ・迂回ができるようスパンを区切って施工するので全線通行止めにする予定はない。
路線バスの影響はあるのか。	・バス事業者とは協議・調整中である。 ・工事の特性上、通行止めが必要となるため、バスにも迂回いただくような施工計画を考えており、今後、詳細に交通事業者の合意を得ていきたい。
工事は夜間と昼間どちらか。施工中の車両の出入りの影響は。	・長期的な計画であり沿道住民が多いことから昼間の施工を想定している。 ・搬入路や駐車場への車両等については、施工前に地権者ごとに事前調整し、極力影響が少なくなるよう努める。
近隣の駐車場契約の利用や影響はどうなるか。 駐車場が使えない場合の損失について、補償はあるのか。	・地権者ごとに駐車場形式が異なるため、今後、個別に対応する。 ・原則として駐車場等が影響しないよう施工調整しようとしている。 ・補償等の対象というのは、一般的に公共補償基準に基づき、例えば、工事による工作物移設等への事業損失補償などは想定されるが、駐車等の一時的な影響は補償基準等に相当するという判断は難しいと考える。
工事中の規制距離について、事業者なので荷下ろし場所等の確保をしてほしい。	・荷下ろしの際は規制間際まで案内して最短距離で荷下ろしをしていただくことを想定している。
電力を電柱から地上機器に切り替える時期はいつか。	・電線類の切替は、管路への入線、抜柱との同時期である。
電線共同溝の整備費用で住民の負担はあるか。	・電線共同溝の整備費用は、事業者が負担する。

<p>電線共同溝整備後に電力量の変更をする際、電柱から架空で供給するよりも所有者の負担が増加するのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電線共同溝から宅地へ引込管で電力を供給するため、インフラ事業者と地権者で引込管の規格や供給量については調整して頂くこととなる。
<p>事業状況や工事状況についてＨＰや回覧等で月に１度程度広報していただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に情報をお伝えできるよう努めていく。
<p>地上機器の計画位置を地中または移動できないものか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地上機器の地中化は構造的に困難である。 ・地上機器の設置箇所は必要最小限にするよう工夫し、地下埋設物の制約条件などを踏まえ、合理的な位置に設定したものとなっている。詳細は個別に説明する。